

## 総説（雑誌）

● 平成28年度 (2016.4~2017.3) ●

● 1) Current concepts in perinatal mineral metabolism Ohata Y, Ozono K, Michigami T  
Clin Pediatr Endocrinol, 25 (1) : 9-17, 2016.

● 2) Milkman 症候群 大薗恵一  
小児科診療, 79 (増刊号) : 376, 2016.

● 3) 低ホスファターゼ症の治療薬開発 大薗恵一  
内分泌・糖尿病・代謝内科, 42 (3) : 203-207, 2016.

● 4) Transformative therapy in hypophosphatasia. Bishop N, Munns CF, Ozono K  
Arch Dis Child, 101 (6) : 514-5, 2016.

● 5) 低ホスファターゼ症 大薗恵一  
最新医学, 71 (10) : 57-62, 2016.

● 6) くる病・骨軟化症 大薗恵一  
診断と治療, 104 (10) : 1321-1325, 2016.

● 7) 骨発育 大薗恵一  
小児疾患診療のための病態生理, 48 (601) : 584-588, 2016. 小児内科, 48 (増刊号) : 584-588, 2016.

● 8) くる病とビタミンD サプリメント 大薗恵一  
チャイルドヘルス, 20 (1) : 25-29, 2017.

● 9) ビタミンD 欠乏症 大薗恵一  
SRL 宝函, 37 (4) : 35-37, 2017.

● 10) 血小板減少症－免疫性血小板減少症 宮村能子  
小児内科, 48 (7) : 1032-1035, 2016.

● 11) 小児疾患診療のための病態生理3 VII. 血液・腫瘍性疾患-15 乳児白血病 宮村能子, 富澤大輔  
小児内科, 増刊号 (48) : 928-932, 2016.

● 12) 小児・若年がん患者の妊娠性温存  
【ネットワークを構築し、実態調査と妊娠性温存治療の発展に向けた取り組みを行っている】 三善陽子,  
大薗恵一  
日本医事新報 No, 4815 : 48, 2016.

●13) 【思春期の悪性腫瘍治療と妊孕性】 小児がん患者の性腺機能障害と妊孕性低下 三善陽子  
思春期学, 34 (3) : 299-302, 2016.

●14) 【合併症妊娠における情報提供】 小児がん既往妊娠 関口将軌, 三善陽子, 左合治彦  
周産期医学, 46 (10) : 1263-1267, 2016.

●15) 【小児がんの長期フォローアップ～医療から教育支援まで～】 医師の立場から  
小児がんの子どもたちの妊孕性  
妊孕性の問題に直面するときに、親と子どもにとって何が課題になるのか 三善陽子  
小児看護, 39 (12) : 1498-1502, 2016.

●16) 【慢性疾患児の一生を診る】

内分泌・代謝疾患 CCS (childhood cancer survivor) の晩期内分泌合併症 三善陽子  
小児内科, 48 (10) : 1463-1466, 2016.

●17) 【小児の症候群】 内分泌 Frasier 症候群 三善陽子, 大薗恵一

小児科診療, 79 (増) : 244, 2016.

●18) 【小児の症候群】 腎・泌尿器 Denys-Drash 症候群 三善陽子, 大薗恵一

小児科診療, 79 (増) : 295, 2016.

●19) 特集 妊孕性温存 小児期のがん治療と生殖機能 三善陽子

HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY, 23 (4) : 345-349, 2016.

●20) 小児・若年がん患者の妊娠性温存 三善陽子, 安田紀恵, 宮下恵美子, 大薗恵一

小児科, 57 (12) : 1467-1473, 2016.

●21) 特集：小児内分泌アドバンス III . トピックス

性腺機能の評価と温存の方法（抗ミュラー管ホルモンなど） 安田紀恵, 橘 真紀子, 三善陽子, 大薗恵一  
小児内科, 49 (2) : 286-287, 2017.

●22) 特集：白血病診療の実際 — 最新の診断と治療

ひとくちメモ 小児・若年白血病長期生存者に対する妊娠性 三善陽子

日本医師会雑誌, 145 (12) 2611, 2017.

●23) 【これって肝臓病？】 トランスマニナーゼと病態 皮膚そう痒症 長谷川泰浩

小児内科, 48 (6) : 838-842, 2016.

●24) 疾患特異的iPS 細胞モデルを用いた軟骨形成に対するIGF-1 の効果の検討 木村武司, 妻木範行, 大  
薗恵一

ホルモンと臨床, 63 (1) : 03-06, 2015.

●25) 創薬をめざした疾患モデルiPS 細胞の作製 坂野公彦, 北畠康司

All About ゲノム編集, 34 (20) : 141-145, 2016.

●26) ダウン症候群におけるGATA1変異と造血異常 坂野公彦, 北畠康司

血液内科, 74 (2) : 252-257, 2016.

- 27) 災害から子どもたちをどう守るか。新生児医療の問題 和田和子  
チャイルドヘルス, 14 (9) : 65-67, 2016.
- 28) 周産期のウイルス感染症 口タウイルス 和田和子  
周産期医学, 47 (2) : 301-302, 2017.
- 29) 大規模災害と周産期医療 NICU 災害マニュアル 和田和子  
周産期医学, 47 (3) : 408-410, 2017.
- 30) トラブル回避のコツはこれ！ NICU で使用される薬剤のチェックポイント イノバン 谷口英俊  
Neonatal Care, 29 (9) : 801, 2016.
- 31) トラブル回避のコツはこれ！  
NICU で使用される薬剤のチェックポイント ドブトレックス 谷口英俊  
Neonatal Care, 29 (9) : 815, 2016.
- 32) トラブル回避のコツはこれ！  
NICU で使用される薬剤のチェックポイント ノルアドリナリン 谷口英俊  
Neonatal Care, 29 (9) : 819, 2016.
- 33) トラブル回避のコツはこれ！  
NICU で使用される薬剤のチェックポイント プロタノールL 谷口英俊  
Neonatal Care, 29 (9) : 829, 2016.
- 34) トラブル回避のコツはこれ！  
NICU で使用される薬剤のチェックポイント ボスミンL 谷口英俊  
Neonatal Care, 29 (9) : 833, 2016.
- 35) 特集 小児循環器のファーストタッチから専門診療へ  
II . 主要疾患に対するファーストタッチ 心筋疾患 小垣滋豊  
小児科診療, 80 (1) : 69-76, 2016.
- 36) 【肺高血圧症の最新知見と新展開】  
肺高血圧症発症メカニズムにおける性ホルモンの役割 小垣滋豊  
血管医学, 17 (3) : 257-264, 2016.
- 37) 【肺高血圧症の病態と治療2016 Up-to-Date】  
先天性心疾患に伴う肺高血圧症に対する治療戦略 小垣滋豊  
呼吸と循環, 64 (6) : 568-575, 2016.
- 38) 【肺高血圧症- 初期診断・治療・管理のすべて】  
各肺高血圧症の診断・治療・予後 [1群] 成人先天性心疾患シャント性肺動脈性肺高血圧症 小垣滋豊  
内科, 117 (3) : 407-412, 2016.
- 39) 次世代シーケンサーを用いた小児期心筋症, 先天性心疾患の最新遺伝子診断 小垣滋豊, 馬殿洋樹  
Annual Review 循環器2016 : 232-238, 2016.

●40) 小児における心筋症の特徴と治療 拡張型心筋症を中心に 鳥越史子, 小垣滋豊  
こどもケア, 11 (5) : 60-64, 2016.

●41) 差分解説：小児用補助人工心臓と心臓移植  
(小児用体外設置式補助人工心臓システムが使用可能に) 小垣滋豊, 大薗恵一  
日本医事新報, 4809号 : 51, 2016.

●42) ビタミンD と小児のくる病 窪田拓生  
O.Li.v.e.6 (3) : 42-44, 2016.

●43) 骨代謝疾患治療の進歩 窪田拓生, 大薗恵一  
日本医事新報, 4803 : 49, 2016.

●44) くる病・骨軟化症 大薗恵一, 窪田拓生  
診断と治療, 104 (10) : 97-101, 2016.

●45) ビタミンD 欠乏性くる病・骨軟化症の病態と治療 窪田拓生  
THE BONE, 30 (4) : 49-53, 2016.

●46) ファブリー病 酒井規夫  
小児科 57 (3) 235-240, 2016.

●47) Krabbe 病 酒井規夫  
病態生理3, 48 : 185-188, 2016.

●48) オートファジーと小児神経疾患 序論 青天目 信, 水島 昇  
脳と発達, 48 (3) : 174-176, 2016.

●49) 【小児疾患診療のための病態生理3 改訂第5版】  
筋疾患 非福山型先天性筋ジストロフィー (メロシン欠損症、メロシン陽性例) 富永康仁  
小児内科, 48 (増) : 501-508, 2016.

●50) 主要疾患に対する専門診療 —一般小児科医が知っておきたいこと 脳血管障害 渡辺陽和, 青天目 信  
小児科診療, 80 (3) : 369-374, 2017.

●51) Oxidative DNA Damage Mediated by Intranuclear MMP Activity Is Associated with Neuronal Apoptosis in Ischemic Stroke. Kimura-Ohba S, Yang Y  
Oxid Med Cell Longev.2016 (2016) : 9, 2016.

●52) Rodent Models of Vascular Cognitive Impairment.  
Yang Y, Kimura-Ohba S, Thompson J, Rosenberg GA  
Transl Stroke Res.7 (5) : 407-14, 2016.

●53) 差分解説「自閉症スペクトラム障害（ASD）と発達障害診療の現状」 中西真理子  
日本医事新報No.5805 : 55, 2016.

●54) 【小児の症候群】神経・精神 レストレス・レッグズ症候群（解説/ 特集）

橋本奈津子, 毛利育子, 谷池雅子

小児科診療, 79 : 143, 2016.

●55) 小児へのCPAP 治療 加藤久美, 谷池雅子

Monthly Book ENTOMI 睡眠時無呼吸症候群におけるCPAP の正しい使い方, 191 : 54-58, 2016.